

＝令和元年度早川南小学校だより＝

はるき



令和2年1月20日

No.41

校長 坂野修一

スキーが大好き～になりました！



大雪注意報が県内に発令され、「大学入試センター試験」受験者やそのご家族のみなさんは大いに気をもんだことでしょう。幸いにもほとんど雪は降らず、無事に2日間の日程を終えました。来年からは「大学入学共通テスト」という名称になり、その内容はこれまでと大きく変わります。英語民間試験の導入や、国語数学の記述式問題導入は、世間からの大バッシングを受けて見送られたものの、英語リスニング問題の比率が高くなるとか、数学では知識だけでは解けないなどと、大きく問題が変わることになっています。早川南小学校の

子どもたちが受験する6年後以降には、どのような形になっているのでしょうか？一生を左右するかもしれない試験なのですから、言ったことがコロコロかわるような方針はやめていただきたいものです。「身の丈に合わせて頑張る…」？とんでもない発言ですね！文科省の官僚のみなさん、しっかりお願いします！

さて、スキー教室に行ってきました。そのスキー教室を振り返ってみます。

◎1日目講習

「スキーは大好き～になるよ」などと相変わらず滑った親父ギャグを結団式で言った私ですが、出かける前には、うまく滑ることができるか不安をにじませていた子どもがいました。スキー場には、15cmの新雪があり、実習開校式においても、「新雪の上で、コーチの先生方が親切に教えてくれるから大丈夫」と励ました私ですが、「みんな上手に滑れるようになるかな？」と心配する私でもありました。

スキー板を初めて履いた子どもたちの様子を最初は傍らで見ていましたが、コーチの方の上手な指導でどんどん上達していく子どもたちの様子に安心…。午前の途中からは、経験者組の練習の様子を見に行くこともできました。経験者組は、すぐに滑りを思い出し、リフトに乗ってどんどん滑っていましたし、新たな滑り方を身につけようとしていました。そして、おかわり自由のカレーを頼張りエネルギーを充填した午後の講習では、初心者の子もリフトに乗ってどんどん滑っているなど、その上達ぶりにただただ感心していた私です。

◎宿泊(八ヶ岳少年自然の家)

夏の少年自然の家はこれまで何十回も訪れていましたが、真冬の自然の家は初めてでした。館内はとても暖かく、貸し切りであったこともあり、なんのストレスもなく快適に過ごすことができました。21時の消灯前後には静かな部屋となり、とてもお利口な子どもたちでした。翌朝、宿直の職員と話しましたが、「とても静かな夜でしたね…」とお褒めの言葉。修学旅行に引率した時もそうでしたが、翌日のことを考え、しっかり体を休めることができる子どもたちは素晴らしいと思いました。

◎2日目講習

既に上手になった子どもたちは、朝からどんどんリフトに乗っていました。スキー教室に不安を感じていた子どもも、とても楽しそうに滑っていました。あっという間の2時間の滑降…。閉校式の中で、「スキーは大好き～になりましたか？」の質問に、「大好き～！」と答えてくれた子どもたちでした。水泳、竹馬、自転車などは、一度覚えたら多少のブランクがあっても体が覚えているものですが、スキーも然りです。学校行事精選の動きの中で、来年度のスキー教室のあり方も考えていきますが、きっと1年後のスキー教室でも、嬉々として滑る子どもたちの姿が目に見えます。来年も楽しみです！